

第203号
平成26年
10月10日

近畿税政連

税理士会の要望
実現のために
活動しています

発行所 近畿税理士政治連盟／発行人 大高友紀／編集人 後安宏彦

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



摩周湖～第一展望台より～（北海道 阿寒国立公園）

撮影：政本彰人（東大阪支部）

■ 第48回定期大会・国政報告会・懇親会 P 3

焦点

支部連合会、近畿税理士政治連盟、日本税理士政治連盟の定期大会が、8月か

ら9月にかけて順次開催された。

定期大会では、税理士法改正問題などを
含む平成25年度の運動経過・組織活動、平
成26年度運動方針などが、代議員により審
議され承認された。

今回の税理士法改正は2つの特徴があ
る。1つは、納税環境整備の一環として納
税者の利便性と国民からの税理士制度の確
保の側面から資格取得の問題が取り上げら
れたことである。つまり、業界問題ではな
く、制度問題として取り組んだことに大き
な意義を見いだせる。

もう一つは、公認会計士協会との話し合

税理士法改正の総括

いが困難を極めていた際に、自民党税理士
制度改革推進議員連盟会長と公認会計士制
度振興議員連盟会長との国会議員等による
政治決着により合意にいたったことであ
る。税政連の日頃の活動が、成果に繋がっ
たのである。

今後は、公認会計士に係る税理士資格付
与については、国税審議会が指定した実務
補習団体等が実施する研修のうち一定の税
法に関する研修を修了した公認会計士に限
られることになった。また研修は税理士試
験と同程度の学識を習得できるものとする
とされた。これらの運用を注視していかな
ばならない。税理士法第3条改正は、触れ
ることすらできなかった状況に一石を投げ
ただけでなく、やがてその輪はますます大
きくなると感じさせた。

第48回定期大会 会長あいさつ

今年の夏は、観測史上始まって以来の集中豪雨等により大きな災害が各地で見られました。被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。

さて、会長に就任して初めての定期大会となります。皆様のご尽力により本日を迎えることが出来ました。こころよりお礼申し上げます。本定期大会は、当連盟の1年間の運動の集大成であり、本年度の運動経過及び平成26年度の運動方針や予算などを十分にご審議いただきたいと存じます。



大高友紀 会長

まずご報告すべきことは、3月20日に成立した税理士法の改正であります。税理士法第3条の資格取得に関し一定の決着をみましたが、これから先も税理士制度がより良き制度となるべく運動をしていかなければなりません。

次に税理士法第49条の11による平成27年度の税制改正に関する建議、要望の実現であります。中でも、消費税の単一税率を維持すること。事業税の外形標準課税は中小企業には導入しないこと。法人税の欠損金の控除限度額を一律に縮減しないこと。これら最重要建議・要望項目は是非とも実現しなければならないものであります。税理士会とともに運動してまいりますので、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

安倍内閣においては、平成24年12月の政権交代後初となる内閣改造が行われ、当連盟推薦国会議員からも15名もの先生方が政府、国会及び与党において要職に就かれています。これもひとえに、各地元で、支部、支部連そして後援会が一体となって後援活動を進めた賜物であると感謝申し上げます。

さて、税政連は税理士会と表裏一体の関係であり、税政連は税理士会では組織上出来ない政治面での行動を行う団体として、税理士を取り巻く政治問題を解決すべく活動を行っております。制度を変えるには国会で法律とならなければ実現することはできません。国会議員に賛同を得なければ税制改正は実現できないのです。税政連の活動は税理士による国会議員の後援会活動が原点であります。

会費収納につきましては、収納率の向上のため口座振替・コンビニ収納等のPRを行い、また、昨年より会員の意識の向上のために、「川柳・書道コンテスト」を開催する等広報活動に取り組んできました。各地で税理士による国会議員の後援会活動を活発にし、一人でも多くの会員を誘って頂き、大きな輪として発展して頂くことが大切ではないかと思っています。

支部・支部連、後援会、代議員の先生方には日頃からの声掛けとともに、後援会活動を通じて、税政連活動へのご理解と会費納入会員を増やして頂きたく、なお一層のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様方のご健勝を祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

目次

焦点	1
第48回定期大会 会長あいさつ	2
第48回定期大会・国政報告会・懇親会	3
和歌山市長選挙 推薦候補者が当選	9
後援会ニュース	9
かんさいすずめ	15
銀河系	15

第48回

定期大会・国政報告会・懇親会

～ 9 月12日(金) 帝国ホテル大阪～

定期大会



平成26年9月12日(金)に第48回定期大会が帝国ホテル大阪において開催された。

司会の協阪説男組織委員長による開会宣言の後、国歌斉唱、物故者への黙祷が捧げられた。

来賓 池田隼啓 日本税理士会連合会会長
 小川令持 日本税理士政治連盟会長
 宮田義見 近畿税理士会会長
 内藤信子 東京税理士政治連盟会長
 西村高史 名古屋税理士政治連盟会長
 栗田敬八 名古屋税理士政治連盟幹事長

当連盟 柏木勝志相談役、今中英雄相談役、
 田中勇治相談役



小島 隆議長(左)と若林日出紀副議長(右)

●大高友紀会長のあいさつ

長年の課題であった税理士法が改正された。特に第3条の資格取得問題では、業際ではなく制度問題として強力に運動したが、思い通りの結果ではなかった。しかし、第3条問題に風穴を開けたことは特筆すべき事であり、税理士政治連盟活動の一定の成果であると言える。「確認書」については未来に見直すことは当然であり、次なる税理士制度の発展に向けて活動していく。

また、平成27年度税制改正建議では、日税連と連携して、「重要建議・要望項目」を掲げてその実現をはかっていく。



議案説明 井戸本泰次幹事長

●議案審議

議長	小島 隆	代議員(豊能支部)
	若林日出紀	代議員(南支部)
議事録署名人	河南 政明	代議員(西支部)
	後藤加代子	代議員(姫路支部)

議案説明

第1号議案	井戸本泰次	幹事長
第2号議案	笹岡 憲一	財務委員長
	木下 雅裕	会計監事
第3号議案	田 達満	政策委員長
第4号議案	田 達満	政策委員長

第5号議案 笹岡 憲一 財務委員長

第6号議案 田 達満 政策委員長

上記議案はそれぞれ、賛成多数により可決承認された。

●大会決議文朗読

第6号議案で承認された大会決議文を、6人の代議員が力強く高らかに朗読した。

朗読者 坪久田 登 代議員(東淀川支部)

石谷 秀志 代議員(泉大津支部)

瀧藤 憲彦 代議員(富田林支部)

寺井 秀次 代議員(岸和田支部)

大森布美子 代議員(枚方支部)

小川由美子 代議員(生野支部)



大会決議朗読

右から坪久田登、石谷秀志、瀧藤憲彦、寺井秀次、大森布美子、小川由美子の各代議員

(葛城支部 吉田廣彰)

来賓祝辞

来賓のうち5名から貴重なお話と丁重な祝辞が述べられた。

●池田隼啓 日税連会長

税理士法改正には、大変お世話になりました。税理士法制定70年来初めて、第3条の問題に触れた今回の改正には、政治決着となったことと納税環境整備の一環として、所得税法の改正の一部として税理士法改正が行われたという2つの特徴がある。日税連70周年のテーマである「過去に感謝、未来に責任」の未来に責任を果たした。

●小川令持 日税政会長

今回の税理士法改正は、税政連なくしては成

しえなかったことであるが、池田日税連会長の指導力と真摯な取り組みがなくしても成しえなかった。第3条の問題は、業界問題ではなく制度問題として決着できたことに大きな意味がある。資格問題に一石を投じたものであり、今後ともその輪を広げていかねばならない。

●宮田義見 近税会会長

近税政の一員としての立場であり、かつ近税会会長の立場から、近税政は、特定の政治思想にとらわれることなく、近税会と車の両輪として税理士制度の発展に努める。

●内藤信子 東京税政連会長

思い起こせば、税理士法改正は、平成23年度税制改正大綱に「…検討を進めていく」と明記されたことからスタートした。さらなる税理士法改正に向けて運動を行い、東京税政連では、納税者権利憲章の制定と、痛みを伴わない法人税率引き下げ、また消費税複数税率反対の税制改正をテーマに活動を行っている。

●西村高史 名古屋税政連会長

租税教育については、改正税理士法において、本会及び税理士会会則の絶対的記載事項に加えられた。近税政のみなさまには変わらぬご指導を賜りたい。

続いて、会費収納率の向上に顕著な成果をあげた支部および支部連の表彰と役員表彰が執り行われた。

最後に河田秀雄副会長による閉会のことばをもって、盛会のうちに定期大会は閉会した。

(和歌山支部 小西里枝)

国政報告会

第48回の定期大会に引き続き前川武政国対委員長司会により、国政報告会が開催された。多忙な時期にも関わらず23人もの国会議員等の出席があった。議員等からは、日ごろの支援に対する謝意を述べられたあと、法人税の税率の引下げ、消費税の税率の引上げ、消費税の軽減



池田隼啓 日税連会長



小川令持 日税政会長



宮田義見 近税会会長



内藤信子 東京税政連会長



西村高史 名古屋税政連会長



粟田敬八 名古屋税政連幹事長

税率を導入するか否か、税理士法改正、マイナンバー制度の適用等について、最近の景気変動や中小企業対策等、政局に関する国政報告があった。

国会議員等からは法人税率の引下げや消費税の税率の引上げについて、熱意を持って言及された。

最後に雪松弘副会長が、出席推薦国会議員並びに国会議員等に対して「本来なら、先生方お一人お一人の持ち時間は30分とすべきところ、時間の都合上、3分程度と制限させて頂きました。ご意見の一部しかお聞きすることができませんでした。別の機会に国政報告会あるいは励ます会を開催して頂いた時は、喜んで参加をさせて頂きます。お聞きしたいことは山ほどございます。本日の国政報告会の御出席に感謝を申し上げます」との謝辞を述べられ、国政報告会は閉会した。

(東大阪支部 政本彰人)

懇 親 会

国政報告会に引き続き、懇親会が開催された。後安宏彦広報委員長が司会者となり、辻井賢博

副会長の開宴のあいさつの後、名古屋税政連粟田敬八幹事長より来賓のあいさつがあった。

その後、左藤章衆議院議員が乾杯の発声を行った。

司会者の紹介で、国会議員等や地方議員等(税理士会会員)が一人ずつ登壇して、あいさつ及び国政報告等を行った。

懇親会から参加した国会議員等は、石川博崇参議院議員、長安豊前衆議院議員。

代理人参加は、関芳弘衆議院議員、高市早苗衆議院議員、奥野信亮衆議院議員、渡海紀三朗衆議院議員、西村康稔衆議院議員、末松信介参議院議員、鴻池祥肇参議院議員、二階俊博衆議院議員(順不同)。

地方議会議員の参加は、到着順に、栗原貴子大阪府議会議員、榎本正勝枚方市議会議員、松本直高交野市議会議員、新田孝大阪市議会議員。

国会議員等の本人参加は16人、代理人参加は8人、また、地方議員等4人の本人参加があった。

細谷陸雄副会長の閉会のあいさつの後、徳富勲副会長の万歳三唱をもって、盛会のうちに懇親会は閉会した。

(住吉支部 仕田原恒雄)

第48回定期大会 国政報告会



松浪健太 衆議院議員



原田憲治 防衛大臣政務官



安藤 裕 衆議院議員



北側一雄 衆議院議員



岸本周平 衆議院議員



松本剛明 衆議院議員



杉 久武 参議院議員



西野弘一 衆議院議員



田野瀬太道 衆議院議員



福山哲郎 参議院議員



國重 徹 衆議院議員



中山泰秀 外務副大臣



石井登志郎 前衆議院議員



盛山正仁 衆議院議員



山口 壯 衆議院議員

懇親会 来賓国会議員等



尾立源幸 参議院議員



うえの賢一郎 国土交通大臣政務官



泉 健太 衆議院議員



北川知克 衆議院議員



竹本直一 衆議院議員



吉田おさむ 前衆議院議員



平野博文 前衆議院議員



左藤 章 防衛副大臣



石川博崇 防衛大臣政務官



長安 豊 前衆議院議員



府会議員・市会議員の皆様

栗原 貴子 大阪府議会議員

新田 孝 大阪市議会議員

榎本 正勝 枚方市議会議員

松本 直高 交野市議会議員

代理人出席の皆様

堀井 巖 参議院議員

川端 達夫 衆議院議員

二階 俊博 自民党総務会長

大塚 高司 衆議院議員

北川 イッセイ 国土交通副大臣

鴻池 祥肇 参議院議員

末松 信介 参議院議員

とかしきなおみ 衆議院議員

関 芳弘 衆議院議員

高市 早苗 総務大臣

奥野 信亮 衆議院議員

渡海 紀三朗 衆議院議員

西村 康稔 内閣府副大臣

■ 第48回定期大会における表彰

役員表彰者

石原 紀一	井戸本泰次	岩崎 和夫	鵜島 信二	岡本 眞弘
小澤 康宏	上村 正和	後藤 房二	高岡 稔	高澤 俊也
高橋 勝彦	竹村 一志	土居三良右衛門	徳久亮太郎	内藤 強
中川良比古	西田 孝浩	西村 敏之	久田 輝雄	北条 伸和
堀井孝一郎	溝上 裕章	三村 浩之	山下 孝士	弓手 宏亮
吉田 廣彰	米田 益男			

(敬称略)

支部および支部連の表彰

1. 平成25年度会費収納率第1位

①支部連(第1条第1号)

和歌山県支部連合会

②支部(第2条第3項第1号)

天王寺支部

[第1グループ(予算額500万円以上)]

東大阪支部

[第2グループ(予算額100万円以上500万円未満)]

水口支部

[第3グループ(予算額100万円未満)]

2. 平成24年度から平成25年度の会費収納率の純増1位

①支部連(第1条第2号)

兵庫県第2支部連合会

②支部(第2条第3項第2号)

該当なし

[第1グループ(予算額500万円以上)]

宇治支部

[第2グループ(予算額100万円以上500万円未満)]

新宮支部

[第3グループ(予算額100万円未満)]

3. 平成25年度会費収納率が50%以上かつ、平成24年度収納率から純増

①支部連(第1条第3号)

和歌山県支部連合会(1号基準重複)

滋賀県支部連合会

兵庫県第2支部連合会(2号基準重複)

②支部(第2条第3項第3号)

[第1グループ(予算額500万円以上)]

該当なし

[第2グループ(予算額100万円以上500万円未満)]

和歌山支部

岸和田支部

旭支部

草津支部

住吉支部

浪速支部

[第3グループ(予算額100万円未満)]

水口支部(1号基準重複)

彦根支部

海南支部

新宮支部(2号基準重複)

宮津支部

社支部

長浜支部

三木支部

福知山支部

柏原支部

龍野支部

西脇支部

豊岡支部

港支部

西淀川支部

桜井支部

西成支部

和歌山市長選挙 推薦候補者が当選

和歌山市長選挙が、平成26年8月3日告示、同10日投開票により施行された。

本部では、第1回推薦審査会を7月4日に開催し、和歌山県支部連より和歌山市長選挙推薦候補者として報告のあった新人の尾花正啓氏おばなまさひろ（自民党・公明党・民主党推薦）について「首長選挙における推薦基準」に基づき慎重に審議を行い、和歌山市長選挙における同氏の推薦を決定した。

選挙にあたっては、支部連・支部において、法定推薦ハガキや電話戦術などの選挙支援が法令違反とならないように十分留意して行われ、投開票の結果、当連盟推薦候補者の尾花正啓氏が当選を果たした。

今後、尾花正啓氏には、ますますの活躍を期待するとともに、力強いご支援を頂戴したい。

首長選挙における推薦基準

平成11年8月4日
総務会決定

1. 被推薦者は、自由主義経済体制下において、税理士制度の発展に寄与し、且つ、相当の効果を期待できると思われる次の各号の一に該当するもので、推薦審査会が特に必要と認めた立候補予定者に限ることとする。
 - (1)税理士業界に対する貢献が極めて顕著であると認められる首長、または今後、多大な貢献が得られることが確実と認められる者
 - (2)税理士会の会員で、真に税理士たる使命と信念に立脚した立候補予定者であり、且つ、当選の可能性が認められる者
2. 推薦は、選挙区ごとに1名とする。
3. 推薦は、選挙ごとに本連盟推薦審査会において決定する。

(注)当推薦基準の適用は、府県知事選挙及び市長選挙に限ることとする。

後援会ニュース

石田真敏後援会

税理士による石田真敏後援会の定期総会が、6月28日に海南商工会議所において開催された。

来賓として、石田真敏衆議院議員、和歌山県支部連より森村透会長が出席した。



井上明彦会員の司会により開会し、加藤正彦後援会長は「昨年10月19日に後援会が設立し、初めての定期総会の開催に際し、日頃の後援会活動に感謝申し上げるとともに、今後とも石田議員を強力に支援し、国政の場で活躍していた

だけるように応援していきたい」とあいさつをした。

続いて、和歌山県支部連の森村会長は、和歌山県支部連の活動について「陳情活動、選挙支援活動を通じて、より一層石田議員を支援していくことをお願いしたい」とあいさつした。

定期総会では、山本孝宏会員が議長となり、第1号議案及び第2号議案について、議案の上程は宮澤信彦幹事長、監査報告は矢本浩之監事が行い、すべての議案について賛成多数により可決承認された。

続いて、石田議員は現在自民党税制調査会の幹事であり、インナーを務めている。消費税、法人税実効税率の引き下げなどについて活動報告があり、特に消費税関連では転嫁問題、軽減税率等について、しっかり取り組んでいくとあいさつがあった。

定期総会終了後、懇親会を開催し、終始和やかな中、会員と石田議員が親しく歓談を行い、盛会の内に終了した。
(後援会寄稿)

世耕弘成後援会

日時 平成26年 7 月 6 日 (日)

場所 ホテルグランヴィア和歌山

来賓 世耕弘成 参議院議員

田 達満 近税政副幹事長

森村 透 近税政和歌山県支部連会長



堀博充会員の司会により開会し、速水慎一郎後援会長より世耕議員へ内閣官房副長官、留任のお祝いとあいさつがあり、引き続き来賓の田近税政副幹事長より、税理士法改正の近況報告と世耕議員へ消費税単一税率のお願いを兼ねてあいさつがあった。

その後、議長の宮尾文也会員の進行により、25年度決算報告及び26年度予算案など全議案がすみやかに可決承認された。

世耕議員によるあいさつでは、安倍内閣発足後560日目になるが、未だ閣僚の人事に入れ替わりがない安定した内閣であることと安倍総理の人事の良さを述べ、外交の建て直しの成果について報告があった。

額田朋子会員による留任お祝いとご結婚お祝いの花束贈呈後、後安宏彦近税政広報委員長の乾杯により懇親会を開催した。終始会話は途切れることなく、最後まで会員との懇談を深めた。川口昌紀会員による閉会謝辞をもち、懇親会は盛会裏に終了した。

安倍総理はもちろん世耕議員には、健康に気をつけてまだまだ活躍していただきたい。

(和歌山支部 小西里枝)

柳本卓治後援会

税理士による柳本卓治後援会の設立後はじめての定期総会が、7月10日、住吉大社吉祥殿において開催された。

来賓として柳本卓治参議院議員、近税政から河田秀雄副会長、井戸本泰次幹事長、田達満副幹事長、大阪府支部連から外園善弘第1支部連会長、仲田むつみ第2支部連会長が出席した。



柳本卓治 参議院議員

楠本雅一幹事長の司会により開会し、中野雅司後援会会長から、「昨年の参議院議員選挙でのご支援、ご協力にお礼を申し上げる」とあいさつがあった。

次いで総会に入り、瀬古順子副会長が議長に選出され、第1号議案、第2号議案、第3号議案及び第4号議案が上程され、各議案は担当者の説明の後、原案通り可決承認された。

続いて、国政報告会が行われた。柳本議員が「市議会議員の時代から30年近く政治に携わってきた。その間税理士の先生方には常に支えて頂き、感謝申し上げます」とあいさつをした。

その後、来賓を代表して井戸本近税政幹事長が総会無事終了の祝辞と、税理士法改正について報告し、柳本議員へは「税理士法改正に多大のご尽力を頂いた」と感謝申し上げた。

続いて、懇親会が河田近税政副会長の乾杯で始まり、柳本議員は気さくに各テーブルを回って親しく歓談し、終始和やかな内に盛会裏に終了した。

(住吉支部 仕田原恒雄)

関よしひろ後援会

税理士による関よしひろ後援会定期大会が7月11日、神戸市須磨区の魚チで開催された。

来賓として関芳弘衆議院議員、徳富勲近税政副会長、兵庫県第一支部連より竹中征二朗会長、寺内設昭幹事長が出席した。



佐々木仁朗後援会幹事長の司会で開会され、忝田裕顯後援会会長より「日頃の後援会活動に感謝します。今回の税理士法改正に於いては、関議員には賛同とご協力をいただいた」とあいさつとお礼を述べた。

続いて、植松伸一後援会副会長が議長となり第1号議案及び第2号議案共に可決承認された。また本年は役員改選の年であり忝田裕顯会長が引続き会長に選任された。

次に、徳富近税政副会長より「税理士法改正では、関議員をはじめ後援会の会長や会員のお力添えのお陰で成立した。また、今後の消費税率に関しては税理士業界では、単一税率を主張していく。複数税率は検討の余地がある」とあいさつをした。

続いて、関議員からは「皆様のご支援に感謝します。中小企業を支援し、そして、地域版アベノミクスとして地域経済の活性化に取り組んでいく。日本の底力を取り戻し、全国津々浦々に早く景気回復の波をお届けできるよう頑張りたい」と報告とお礼を述べた。

その後、懇親会が催され関議員と和やかな時間を過ごした。

(西宮支部 森本幸子)

二ノ湯さとし後援会

税理士による二ノ湯さとし後援会総会が、7月12日、京都センチュリーホテルにおいて開催された。来賓として、二之湯智参議院議員、近税政より大高友紀会長、原綱宗総務会長、笹岡憲一副幹事長、京都府支部連より奥村和義会長、伊良知弘敏幹事長、伊吹文明後援会より廣瀬來三名誉会長、北條巖会長、室谷澄男幹事長、西田昌司後援会より中江嘉和会長が出席した。



谷口康夫後援会幹事長の司会により開会し、今西衛後援会会長のあいさつの後、総会に入り、全議案とも可決承認された。

来賓の紹介に続き、大高近税政会長、奥村支部連会長よりあいさつがあり、また、廣瀬名誉会長より「後援会員を増やしていただき、議員には国政の場で頑張ってもらいたい」と激励のあいさつがあった。

その後、二之湯議員より国政報告があり、地方自治に精通された二之湯議員の多岐に亘る政治活動や総務委員会でのお話をされ、改めて二之湯議員のご活躍を実感できる内容であった。特に人口減少問題では、多くの自治体が消滅する危機がある。このままでは経済の活力がなくなり、国家そのものが成り立たなくなる恐れがあり、若い人たちが子供を産み育てる環境を作るのが重要であるとお話が印象深かった。

国政報告の後、原近税政総務会長の乾杯で懇親会が開催され、和やかな内に、北村善和後援会副会長の閉会のあいさつをもって終了した。

(右京支部 吉田和之)

松浪ケンタ後援会

日時 平成26年 7月25日

場所 高槻現代劇場

来賓 松浪ケンタ衆議院議員

雪松 弘 近税政副会長

松尾康弘 近税政大阪府第3支部連会長

田中啓允 原田憲二後援会会長



皆元利一副会長の司会により開会し、谷丸八郎会長のあいさつの後、長井良明会員が議長となり総会が開催された。任期満了に伴う役員改選案を含む第1号から第5号の全議案が、原案通り可決承認された。

●松浪ケンタ衆議院議員 国政報告

衆議院の決算行政監視委員会の委員長として勉強会を開いている。改革案を与野党ともにまとめたところであり、次の国会からおそらく決算委員会のあり方が大きく変わるだろうと考えている。また今後の消費増税については、公平簡素な税制のため、マイナンバー制度の充実が不可欠となる。

●雪松弘 近税政副会長 あいさつ

税理士法改正は、税理士法第3条の見直し、納税環境の整備、税理士会と税政連の息の合った連携で実現できたが、これは後援会活動の最大の成果であり、今後も我々税理士自身の問題として税政連に協力して頂きたい。

総会終了後には、古屋秀典大阪府第3支部連副会長の乾杯の発声により懇親会が開催され、松浪議員が会員と親しく歓談を行い、盛会裏に終了した。
(茨木支部 中川 巖)

岸本周平後援会

日時 平成26年 7月26日

場所 ダイワロイネットホテル和歌山

来賓 岸本周平 衆議院議員

後安宏彦 近税政副幹事長

森村 透 近税政和歌山県支部連会長



坂本忠進幹事の司会により、最初に岸本周平議員による国政報告があり「今後の税制改正において、欠損金の繰越控除の縮減や消費税の単一税率の維持に関して、中小企業に過度の税負担や事務負担が生じないように見守っていく」と述べた。

続いて定期大会は、大西省悟会長が岸本議員に税理士法改正に関してご尽力いただいたお礼と「今回の税制改正に関して、議員が述べられた二点に加えて中小企業に対する事業税の外形標準課税の不適用等についてもご尽力いただけるようお願いするとともに、私達後援会もより一層岸本議員をご支援できるよう、会員増強に努めます」とあいさつした。

次に議長の額田幸至会員の進行により議事は原案通り可決承認され、その後、来賓の森村透和歌山県支部連会長の祝辞、後安宏彦近税政副幹事長の閉会のあいさつで終了した。

定期大会終了後の懇親会では、溝上裕章和歌山支部長の開会のあいさつで始まり、岸本議員は、各テーブルごとに親しく会員と意見交換をされ、懇親会終了までお付き合いいただいた。

最後に西川明伸幹事長による閉会のあいさつで終了した。
(後援会寄稿)

泉ケンタ後援会 京都市成長産業創造センター見学会

税理士による泉ケンタ後援会では、7月30日、京都市伏見区の京都市成長産業創造センター(ACT—Kyoto)の見学会を実施した。

当該センターは、「らくなん進都・高機能性化学研究開発拠点」として昨年11月に開所された。

産学公が連携し、人材育成や交流の場を提供し、幅広い情報交流の促進と新たな連携の創出を図ることを目的として建設された。国の補助事業にも採択され、その実現には泉ケンタ議員も尽力された。



泉議員、京都市産業観光局新産業振興室長北村康二氏、公益財団法人京都高度技術研究所長上野明彦氏のあいさつの後、柴田雅光研究所産学連携事業部長の案内によりセンター内を見学した。

センターは地上5階、地下1階からなり、共同研究用ラボ、レンタルラボ、共通会議室、レンタルオフィス、交流スペースなどがあり、また、全館LED照明、ガスヒューポンと木質ペレットボイラー併用による空調、屋上太陽光パネルによる自家発電と、環境配慮型施設である。この施設は地元企業が参画し、地域産業にも貢献している。

京都の企業のさらなる発展と京都を拠点とした新しいベンチャー企業を育成していくためのものであり、このような素晴らしい施設を知り、勉強することができ、たいへん有意義な見学会であった。
(右京支部 吉田和之)

泉ケンタ後援会

税理士による泉ケンタ後援会総会が、7月30日に見学会に引き続き伏見区のシーホースにおいて開催された。

来賓として、泉ケンタ衆議院議員、近税政より大高友紀会長、京都府支部連より奥村和義会長、伊良知弘敏幹事長、福山哲郎後援会より作見藏市会長が出席した。



小山敏後援会副幹事長の司会により開会し、谷明憲後援会会長より「会員皆様の協力に感謝している。泉先生は自ら動いて情報を与えて下さり、国政の中でもっと意見の言える人になっていただきたい」とあいさつがあった。

田中英文会員が議長に選出され、全議案とも可決承認された後、大高近税政会長より「税理士法改正実現には泉先生にもたいへんご尽力いただき感謝している、これからも後援会活動を充実していただきたい」とあいさつがあり、奥村支部連会長から泉議員に支部連活動へのご協力を感謝申し上げた。

その後、泉議員より「後援会の皆様に心より感謝申し上げる。できたての会を育てていただいており、期待に応えられるよう活動していく」とあいさつの後、党役員人事の件、集团的自衛権の件について国政報告が行われた。

引き続き開催された懇親会では福山哲郎後援会の作見後援会長からあいさつがあり、伊良知支部連幹事長の乾杯の発声の後、泉議員は会員と終始和やかに歓談し、盛会裏に終了した。

(右京支部 吉田和之)

安藤裕後援会 設立総会

税理士による安藤裕後援会設立総会が7月26日に京都センチュリーホテルにて開催された。

来賓として西田昌司参議院議員、近税会より北村善和副会長、近税政より大高友紀会長、井戸本泰次幹事長、原綱宗総務会長、京都府支部連より奥村和義会長が出席した。

熊谷宏臣後援会幹事長の司会により、開会が宣言され、発起人代表の高瀬哲也顧問より「後



安藤裕 衆議院議員

援会の設立にあたり、皆様に快くご賛同いただき感謝している」とのあいさつがあった。

次に、議長に米田茂後援会副会長が選出され、議事に入った。議案はすべて原案通り、可決承認された。また、片野晏弘後援会会長より「後援会の発足において、我々みんなで足並みをそろえて頑張りたい」とのあいさつがあった。

続いて、安藤議員より「平成24年の衆議院議員選挙において皆様のご支援をいただき、またこの度は後援会設立いただき、この場をお借りして感謝申し上げる。税理士の先生とともに、日本の経済を根底から支える中小企業の発展のためにあるべき税制の実現に向け、また、納税者の皆様から信頼される税理士制度の確立に向け、尽力したい」とあいさつがあった。最後に井上玲子後援会副会長による閉会のあいさつの後、設立総会は終了した。

引き続き、懇親会が開催され、安藤議員を囲み終始和やかなうちに盛会裏に閉会した。

(中京支部 久乗一姫)

わかりやすい

確定申告業務の必携アイテム

平成26年分 確定申告のための

税 務 便 覧

監修：日本税務会計学会 顧問
税理士 右山 昌一郎



所得税・贈与税・消費税・住民税・事業税の申告
及び相談業務を迅速かつ的確にサポート!!

特 色

- ① 確定申告業務に必要な事項がコンパクトに収録されています。
- ② 収録項目を縦覧しやすいように見開き型を採用しています。
- ③ 見やすさを追求したカラー印刷です。
- ④ 最新の税制改正に対応

A4判・総14頁 定価 410円(税込)

※左の写真は平成25年分を部分的に使用しているため掲載内容、デザイン等は若干変更される場合があります。

出版元 京都税理士協同組合

〒604-0943 京都市中京区麩屋町通御池上ル上白山町258-2
TEL 075-222-2311 FAX 075-222-2355

近税政活動に加わって

5年前からジョギングをしている。きっかけは、家族旅行の写真に写った自分の腹の有りに「このままではいけない」とダイエットを決意したからである。これまでも三日坊主の覚えがあったので、無理なく継続できるように食事制限は「昼食のカツ丼の類は厳禁」のみとし、週2回仕事を6時に切り上げて自宅近くの田圃道を1時間程、歩くような速度から走り始めた。案外この程度で、始めてから8カ月で体重は78Kgから66Kgに減り、着る服もLからMサイズへとかわった。

体重が順調に減り続けている間は、達成感で走ることがさほど苦ではなかった。しかし、減る体重も徐々に限界値となり今の体重を維持するとなると、走ることへのモチベーションを維持し続けることが徐々に難しくなってきた。特に冬はつらい。日も早く沈み寒風の吹く夜道へ駆け出すには相当な決意を要するようになった。

ここ最近では、走ることを今の自分の「根性試し」と考えるようになった。一人好き勝手に走っているので途中で疲れたら歩くなり止めるなり自由なのだが、今の自分の体力の限界に近い速度で、箱根駅伝の山の神になった気分で、息を上げ歯を食いしばり1時間走り通せることができれば、今日の自分の根性を讃え、風呂で自己満足に浸りながら夕食にビールで祝杯をあげている。

昨年からは近畿税政連の広報委員として加わっている。どのような活動も、事のし始めはしばらくは継続できる。組織活動もそうではないか。だが何年何十年と活動へのモチベーションを維持し続けることは並大抵のことではない。周囲の評価は様々ではあるが、使命をやり遂げたという満足感を後々へ継承していくことによって組織活動も継続されていくのではないだろうか。

(泉佐野支部 木戸朋宏)



近税政本部のうごき

○第1回正副幹事長会(7月31日)

- ・第48回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
- ・第48回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
- ・その他

○第1回幹事会(7月31日)

- ・第48回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
- ・第48回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
- ・その他

○第1回総務会(8月4日)

- ・第48回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
- ・第48回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
- ・その他

○第2回正副幹事長会(書面審議)(8月22日)

- ・「税理士による安藤裕後援会」を支援後援会に認定することについて

○第48回定期大会(9月12日)

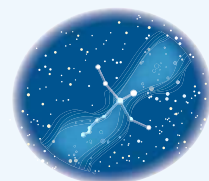
○第2回広報委員会(9月18日)

- ・「第2回川柳・書道コンテスト」について
- ・機関誌第202号(8月号)の批評

表紙題字:「第1回川柳・書道コンテスト」
書道テーマ部門 最優秀会長賞作品
(作=藤原洋子 福知山支部)

- ・機関誌第203号(10月号)の編集について
- ・機関誌第204号の編集企画に関する件
- ・その他

銀河系



第2回川柳・書道コンテストにたくさんのご応募ありがとうございました。書道部門では

「近畿税政連」「焦点」等の力作、川柳部門では力強い税理士が担う税政連の存在がよく理解できる秀作を頂きました。広報委員会は税理士全員に税政連を広く知らしめ、税政連に目を向けてもらい積極的な会費の納入が促進される役目をささやかながら果たすことができたと自負しています。

9月12日開催された近税政定期大会で全議案の承認を受け、大高会長執行部は2年目に入ります。税理士は、国民から求められる国民のための税制の構築、斬新な税制改正を目指し常に国会議員との意見交換や後援会活動に力を入れて頑張っています。

その姿勢を全国の税理士が認識して普段から活動すれば、強力にうごく税政連が誕生するのではないのでしょうか。私はそう願う!

(奈良支部 黒田有紀)